真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月12日

事務事業名	公園整備事業		担当課・係	建設部　都市計画課　開発指導係
政策名　No	4	「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～	関連する SDGs･DX	 DX
施策名　No	1	良好な市街地の形成		

成果指標	名　称	初年度からの実績値の比較						目標値
		単　位	R7	R8	R9	R10	R11	R11
	市民一人当たりの公園面積	㎡／人	35.3					35.9

事業内容

土地区画整理事業などの大型開発事業においては、整備区域面積の３％以上の公園・緑地を設置することとしており、事業の進捗に併せて都市公園として整備している。

整備予定公園数
都市公園・緑地　90ヶ所　278.09ha
（ただし、市民一人あたりの公園面積は、交付税検査における都市公園の面積に関する調の数字を用いており、都市公園・緑地として供用開始の告示をしているものを対象としているので、てらうち柿木原公園は計上しないものとする。）

前年度の課題（Check）

都市公園は市民の身近な憩いの場であり、災害時の緊急避難場所等の機能も有していることから、良好な市街地を形成するため、順次整備を進めていく必要がある。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・真岡てらうち産業団地公園等整備　実施設計業務委託

【２】結果と課題（Check）
都市公園は市民の身近な憩いの場であり、災害時の緊急避難場所等の機能も有していることから、良好な市街地を形成するため、順次整備を進めていく必要がある。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・暮らしやすく魅力ある市街地環境や街並みの形成を図るため、令和８年度に亀山北原公園を整備する。
・真岡てらうち産業団地を整備するにあたり、周辺環境（森林、水田）との一体的な調和や環境の保全を図るため、令和８年度に緑地を整備するとともに、令和９年度のてらうち柿木原公園の整備に向けて設計協議等を進める。

（2）長期的な計画で検討すること